

a 気候

\_\_\_\_\_ ..大気の状態、大気現象←\_\_\_\_\_ エネルギー 大気圏・水圏・岩石圏  
 \_\_\_\_\_ ..大気の総合的・平均的状态 (気圏)

\_\_\_\_\_ .. \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ など

↑  
 \_\_\_\_\_ ..気候要素を決定する \_\_\_\_\_ 度・ \_\_\_\_\_ 度・地形・海流・隔海度など

b 気温

緯度や高度などによって影響される

気温の遞減率 100mにつき \_\_\_\_\_ °C下がる

(富士山頂上 (3776m) では0mに比較して \_\_\_\_\_ °C低下する)

電卓等使用

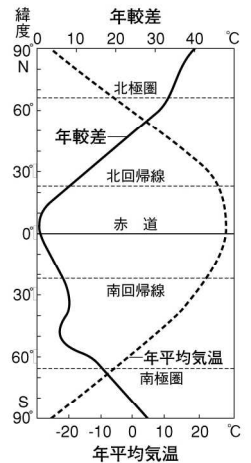
\_\_\_\_\_ ..一日の寒暖の差、一日の最高気温と最低気温の差

\_\_\_\_\_ ..一年の寒暖の差、  
 最暖月平均気温と最寒月平均気温の差

大陸と海洋では、大陸の方が比熱が (小さい・大きい) ので、  
 大陸は (暖まりやすく・暖まりにくく)、(冷めやすい・冷めにくく)。  
 よって、大陸内部は年較差が (小さい・大きい)。

これを \_\_\_\_\_ 性気候という。海岸部では逆に年較差は (小さい・大きい)、 \_\_\_\_\_ 性気候となる。

その他、年較差は (高緯度・低緯度) ほど大きい。また乾燥気候の年較差は (小さい・大きい)。



c 大気大循環と風

恒常風

風は\_\_気圧から\_\_気圧に吹くように、風は気圧差によって生じるが、地球の自転によって偏向され、北半球では進行方向に向かって、(右・左)に、南半球では(右・左)に傾く。・・コリオリの力

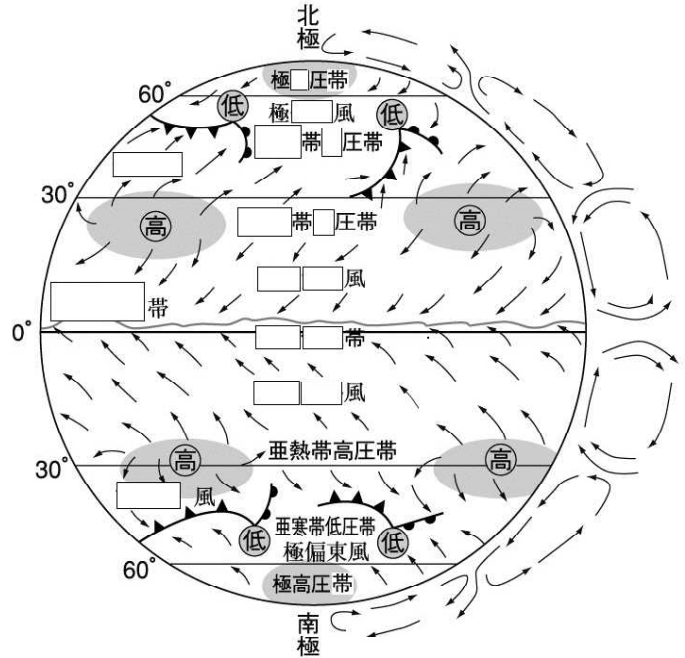
気温が高い赤道付近では、大気が温められ、\_\_気流が生じ、\_\_気圧となる。(\_\_\_\_帯) 高空で冷やされた空気は下降気流となって地上に吹き下ろす。これが\_\_° ~ \_\_° 付近であり、\_\_\_\_帯と呼ばれる。(ちなみに北緯23.4° 付近は\_\_\_\_線)

亜熱帯高圧帯から赤道低圧帯に向かって\_\_風が吹き、北半球では\_\_(方位)の風となる。

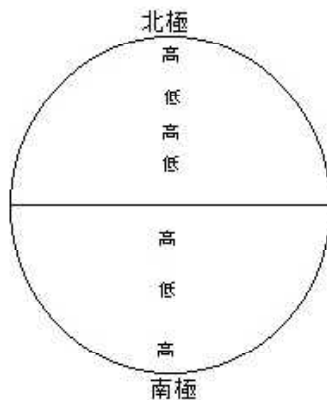
亜熱帯高圧帯から高緯度側に吹く風を\_\_風(北半球では、方位は\_\_)と呼ぶ。気温が低い極付近は\_\_帯となり、\_\_\_\_風が吹き出し、偏西風と衝突して上昇気流が生じ、\_\_\_\_(高緯度) \_\_帯と呼ばれる。

貿易風・偏西風・極偏東風は、季節によって吹く場所が異なるが、一年中同じ方向に吹いているので、\_\_風という。

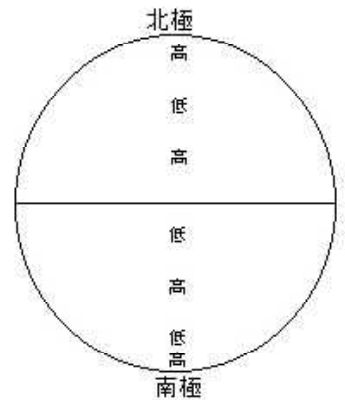
大気大循環の模式図



(1月・7月)



(1月・7月)



\_\_\_\_\_ 気流 (jet stream)

北半球の30° -40° 付近、高度8000-13000m (対流圏上層) に風速は100km/h位で冬は360km/h近くになる強い西風が吹く。冬は南に降り、強くなる。この蛇行が日本の異常気象をもたらす。亜熱帯ジェット (30° ) と寒帯ジェット (40° ) がある

### 季節風

恒常風に対し、季節で方向が変わる風を\_\_\_\_\_ 風 (\_\_\_\_\_ ) という。

夏、(大陸・海洋) から比熱が大きく低圧となる (大陸・海洋) へ

冬は (大陸・海洋) から比熱が小さく低圧となる (大陸・海洋) へ

インド付近では、夏の間\_\_\_\_\_ の風が、冬は\_\_\_\_\_ の風が吹き、

日本付近では 夏の間\_\_\_\_\_ の風が、冬は\_\_\_\_\_ の風

が吹く。

### 海陸風

昼間、\_ からの風、夜間\_ からの風。

気圧差がない時は\_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_

### 山谷風

昼間、\_ からの風、夜間\_ からの風。



### 地方風 (局地風) ・その地方独特の風、 ・ (デ) p. 9

\_\_\_\_\_ ・初夏東北地方、(太平洋・日本海) 側に\_\_\_\_\_ 気団から吹く北東の寒冷風

\_\_\_\_\_ ・本来は春先、スイスに吹く南の温暖乾燥風 やがて一般化して山越えの風が乾燥し高温となる現象を\_\_\_\_\_ 現象

\_\_\_\_\_ ・春～秋、イタリアにアフリカから吹く高温砂混じりの風、\_\_\_\_\_ を渡るため湿潤

\_\_\_\_\_ ・冬、ダルマティア海岸・イタリアに吹く北西の寒冷風

\_\_\_\_\_ ・冬・春、フランス地中海側に吹く寒冷な北風

\_\_\_\_\_ ・北米、冬の寒冷風。地吹雪になることも

他にハルマッタン・チヌーク (シヌーク、フェーン的な風春のロッキー山脈東側)

## d 降水

条件・・・水蒸気・\_\_\_\_ 気流・核

→多雨は・山地の（風上側・風下側）・・・インド海岸部\_\_\_\_\_ 山脈の夏の雨  
↑\_\_\_\_ 性降雨 \_\_\_\_\_ 山脈インド～ネパール・中国間

（海岸部・内陸部）・（高気圧・低気圧）の他、

\_\_\_\_\_（熱帯亜熱帯の夏の午後の雨）・（暖流・寒流）付近

・・・日本の夕立

\_\_\_\_\_（暖かい気団と寒い気団がぶつかる場所（温暖\_\_\_\_\_ ・寒冷\_\_\_\_\_））

上の条件の逆は砂漠になりやすい

内陸性砂漠・・・\_\_\_\_\_ 砂漠（中国モンゴル国境）・\_\_\_\_\_ 砂漠中国西

\_\_\_\_\_ 高気圧帯・\_\_\_\_\_ 帯高気圧帯付近は少雨  
（部）

\_\_\_\_\_ 砂漠（ナミビア）・\_\_\_\_\_ 砂漠（チリ北）は寒流性砂漠  
↑\_\_\_\_\_ 海流 ↑\_\_\_\_\_ ・（\_\_\_\_\_）海流による

アルゼンチン南部の\_\_\_\_\_ あまかけ 台地は雨陰砂漠・・・\_\_\_\_\_ 風の風下側

## e 海洋と陸水

海洋・・・地球の表面積の（ ）割を占め、水の（ ）%が海洋にある。  
平均水深は3795m 水半球と陸半球

3大洋・・・（ ）46%、（ ）23%、（ ）20%

付属海・・・

地中海（大陸に囲まれた海）

（ ）・・・ユーラシア大陸・北米大陸に囲まれた

（ ）・・・アフリカ・ヨーロッパ

（ ）・・・北米・南米 他、バルト海・紅海など

沿海（縁海）（列島や半島で囲まれた海）

（ ）・・・ユーラシアと日本列島

（ ）・・・ユーラシア・千島列島・カムチャッカ半島 など

（ ）・・・水深130～200m以下 この上の島が陸島

（ ）・・・上記の特に浅い部分、日本語では浅堆

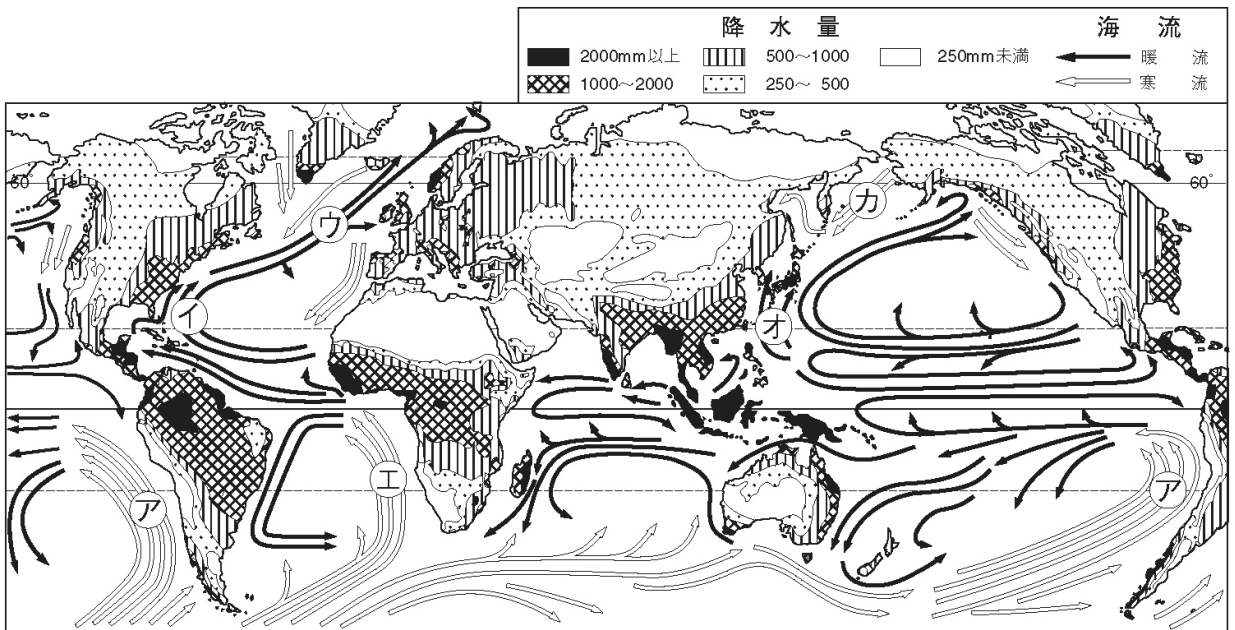
- ( ) ・水深3000～6000 (4000～7000) m、海洋底とも、海が一番広い部分、この上の島が洋島  
 深海平原
- ( ) ・水深6000 (7000) m以深の部分  
 他に大陸斜面・海盆

陸水・・・水の2.5%が陸にある。

- ( ) ・陸水の大部分 3 / 4 (水の1.99%) がある  
 陸地の表面積の11%を占める  
 9割は ( ) に、1割弱が ( ) と北極海
- ( ) ・水の0.75% 宙水・自由地下水・\_\_\_\_ 地下水  
 上下の不透水層に加圧されている
- ( ) ・水の0.017% 淡水湖・塩水湖・汽水湖、富栄養湖・貧栄養湖
- ( ) ・水の0.0001% 河況係数 = 最大流量 / 最小流量

他に土壤中や水蒸気として

f 海流



- ア \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ ) 海流    イ \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )
- ウ \_\_\_\_\_ 海流    エ \_\_\_\_\_ 海流    オ \_\_\_\_\_ 海流 ( \_\_\_\_\_ )
- カ \_\_\_\_\_ 海流 ( \_\_\_\_\_ )

北半球では、

暖流は（時計・反時計）回り（赤道付近では（東・西）流）、大洋西（大陸東岸）から離れると北（東・西）へ流れる←理由 \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_（・・吹送流・表層流）

ヨーロッパなど緯度50° 付近の大陸\_\_ 岸は、暖流の \_\_\_\_\_ 海流の影響と \_\_\_\_\_ 風の影響で高緯度の割に暖かく、年較差は小さい。これを\_\_ 岸気候という。

逆に大陸\_\_ 岸は、季節風の影響で冬は厳しく、夏は暑い。このため、年較差は大きく、これを\_\_ 岸気候という。

寒流は（時計・反時計）回り

南半球では、

暖流は（時計・反時計）回り（赤道付近では（東・西）流）、大洋西（大陸東岸）から離れると南（東・西）へ流れる。寒流は（時計・反時計）回り

深層海流・深海底を流れる緩やかな流れ 1～10cm/s程度

\_\_\_\_\_ ・・海底から海面への流れ  
南米ペルー・エクアドル沖合が有名  
栄養塩（NPK）が豊富で、好漁場となりやすい

他に補流など